

子育て支援について主な意見

妊娠したら

- ・ひとり親で身ごもった時の支援などの情報が少ない
- ・お母さん同志が集まれる場所が少ない
- ・タクシーチケットの発行など手厚い支援が欲しい
- ・医療費補助の充実を望む
- ・医療体制サービスの充実望む
- ・出産費用への補助をしてほしい
- ・男性の育児協力が必要
- ・子育て支援の相談窓口が少ない、どこにあるのかわからない

あかちゃんが生まれたら

- ・どのような支援があるのか分からない
- ・ママ友の交流できる場所がない
- ・自由に行ける屋内施設の充実を望む
- ・一時預かり場所が必要
- ・産後うつに対するの対策が必要
- ・一時的な支援でなく継続的に行ってほしい
- ・多胎児（双子・三つ子）の負担を軽減してほしい
- ・母子家庭への補助は手厚いが、低所得者への補助が少ない

保育園 幼稚園

- ・兄弟と違う場所への入園は改善されていない
- ・保育士不足への改善が不可欠
- ・保育園に入れない理由がわからない。保育士不足という理由だけだとは思えない。
- ・一時保育が利用しにくい。予約制は意味がない。急に預けたいときに、預けられない。
- ・未満児の待機数が多いと聞くがどうか
- ・認可外の幼稚園、保育園にも補助が必要
- ・延長保育一日の上限を撤廃（500円）月の上限のみ実施してほしい
- ・保育士の給料アップへの補助金を出して欲しい
- ・保育士の配置基準も増やしてもらいたい

小学生以上

- ・給食費の無償化をしてほしい
- ・自校給食を続けてほしい
- ・放課後支援（発達障がい児の）もっとふやしてほしい
- ・通学路の整備不足解消（御影のグリーンゾーン等）
- ・いじめ自殺問題にもっと取り組んでほしい
- ・いじめひきこもりの数字をちゃんと出してほしい
- ・虐待、いじめ問題の早期発見が必要
- ・不登校解消の対策が必要
- ・不登校が増加しているので対策を
- ・PTAの在り方を考えてほしい
- ・1クラスの児童数が多すぎる（美南ガ丘小）
- ・中学高校の部活を地域で支える団体等をわかりやすく説明して欲しい
- ・なぜ小中一貫がいいのかわからない
- ・学習支援の場がたくさんほしい
- ・公園・遊び場を充実して欲しい

その他

- ・モンスターペアレンツ対応の窓口が知りたい
- ・子ども食堂を補助して欲しい
- ・ヤングケアラーへの対応が必要
- ・子育て支援策の一時的ではなく継続が必要
- ・地域での子供の居場所づくりが必要
- ・学校の特色づくりが必要
- ・小学校再編にあたり…なぜ小中一貫校なのかわからない
- ・子供の自殺の増加・こもロッジの利用料金が低い・マンパワー不足
- ・アレルギーに対しての対応が小諸市は遅すぎる

学校再編について主な意見

今までの進め方

- ・小中一貫教育のシステム・メリットがわからない。
- ・住民の声を細かく聞く場があってもよかったのではないか
- ・丁寧な検討の上に纏めてきたものだと思うが「子ども中心」は、外せない
- ・今までの議論を再度広報してほしい
- ・再編による、メリット・デメリットを明確に
- ・小地区で説明会を開いてほしい
- ・子どもの数が減ればやむを得ないと思う
- ・新しい学校の設計業者は小諸市の業者が多く参加できるように。
- ・学校再編についての報告機会はあったが、意見を聞かれる機会がなかった。

廃校の利用方法

- ・民間企業へ売却
- ・ドローンの実験など（農業、物流）
- ・道の駅、地場製品の加工場、地域の避難所、宿泊できる場所などに
- ・体育館は体育施設として、区切られた部屋はバンド練習等で利用
- ・現状避難場所、災害時の時も活用できるように
- ・地域コミュニティセンターの活用はどうか
- ・学校法人・NPO 法人で学校として、活用はどうか
- ・集団になじめない又不登校等の子どもたちが通う場の活用はできないか
- ・市民が運営する博物館に
- ・「廃校利用方法を考える会」を市や議会が主導し、開催してほしい。
- ・地元優先で考えるべき
- ・廃校舎の耐震性はあるのか
- ・体育館は公民館活動などに使える。もったいない
- ・グラウンドは少年野球・サッカーなどで、今まで通りに使いたい
- ・映画撮影の場所として学校を残して、利用してもらう方法はないか？
- ・見学会を行ったらどうか。
- ・「欲しい」と「必要」の区分を明確にして、冷静に利用方法を考えるべき。
- ・必要のない公共施設の設置は、将来的に負の施設となる。
- ・作業や野菜作りなどの施設活用をしてほしい。

新小学校にのぞむこと・施設

- ・プールはどうか？ 民間プールの活用はどうか？
- ・地域との交流ができる部屋の設置
- ・高学年も中・小学年が交流できる場所
- ・芦原中の送迎車の交通渋滞が起きないように、道路整備をしてほしい
- ・スクールバスの利用中を広げ、子どもたちの安心安全を守る
- ・校庭を芝生にしてほしい
- ・学校の避難所はどうか
- ・川辺地区から中学校への道に歩道がない、何とかしてほしい
- ・成長期に歩くことは、必要だ。健康面でも、忍耐力をつける意味でも。
- ・グラウンドは狭くないか、心配
- ・地域の声が反映する組織作りが必要。
- ・生徒数が増える、教室の数は？増設か？土地は確保できるのか？
- ・プールは水泳の授業日数が少ないのでよく考えてもらいたい。
- ・自校給食については施設的に場所の確保が心配である。増設できるのか？
- ・芦原中学校と共用できる場合は新しい施設をむやみに作らない。
- ・児童館については、働いている保護者の為に、学校の近くに造ってほしい。

新小学校にのぞむこと・教育

- ・小中一貫教育の実際 — 何か子供のためになるのか
- ・フリースクール的な場所を設けてほしい
- ・先生に余裕ができふれあいの教育ができる。尊敬される先生に
- ・「教育内容」の検討をオープンにしてほしい
- ・児童数が増えるので、学校として一人一人に目が届くのか心配である
- ・個性を大事にした教育を。現場が共通理解をすることが大事である。
- ・学校の田んぼなど、地域の連携をしてほしい
- ・9年間同じ小中一貫で、不登校やいじめなどから逃げ場が無くなる
- ・クラス替えはどうか。
- ・PTA 組織の充実をどの様に考えるか。
- ・子供たちの混乱が起きた場合、学校側はどの様にコントロールするのか。
- ・教育担任制の導入。
- ・中学校担任の小学校への乗り入れと、縦の繋がりが大切。
- ・9年間の学校の目指したいことの連続性が重要。
- ・現状の不登校数といじめの数に対して、仕切り直しの有用性について検証。

- ・総合学習の発展型からプロジェクト型教育の大胆な導入（義務教育学校）
- ・上級生が下級生の面倒を見るようなカリキュラムを作ってほしい。
- ・グローバル教育を上手く取り入れてほしい。
- ・子どもたちのために、熱意ある教員を小諸市に迎えたい。
- ・小学校1・2・3年までは少人数学級の教育ができないだろうか。

その他

- ・芝生田からの通学体制スクールバス今後も継続してほしい。
- ・現行の小学校の校歌は？ 各校にある文化財は？
- ・東中学校区の再編も話を進めてほしい

所感

- ・基本的に、行政の説明会でも出せる意見がほとんどであったが、そちらには参加していない市民がほとんどだった。
- ・行政の説明会には参加しない層の市民が参加していると思えば、議会が説明会兼意見交換会を開催することも意義があった。

以上